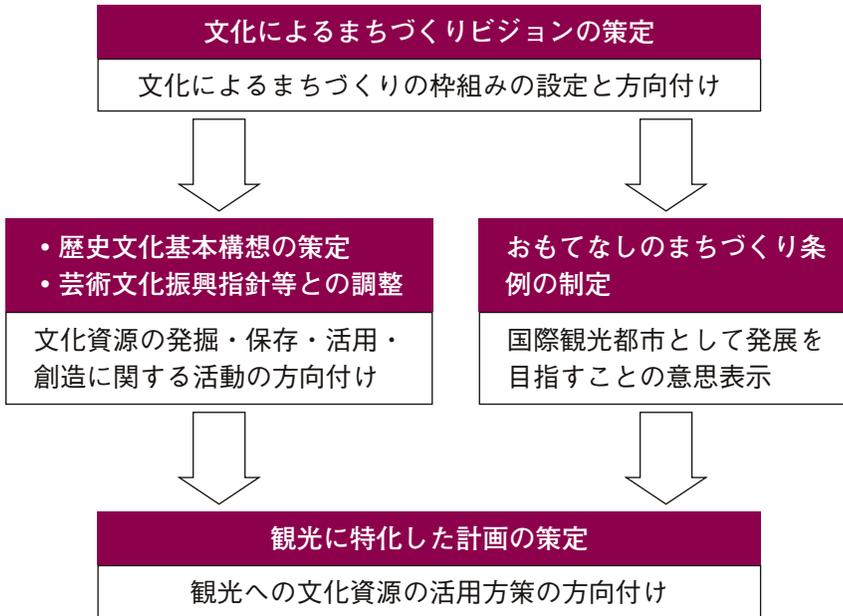


文教経済 委員会

調査項目 「観光と伝統文化」調査中間報告

《調査の目的》

商業化が激しい伝建地区の在り方を危惧する市民の声があり看過できない状況。まちの持続的発展のためには、観光の振興と伝統文化の保存の間に、どのような関係性を築けばよいのかの調査研究



▲調査報告▼
観光は高山の経済を牽引する基幹産業である。その観光の核は伝統文化であり、伝統文化を形成・維持しているのはコミュニティ・伝統産業・農林業等である。コミュニティや関連産業を充実させる

ことは、観光の基礎をより強固にし、まちの持続可能性を高める。そのためには、こうした認識をすべての市民が共有し、この認識に基づいて以下のような政策を展開する必要がある。

- (1) 文化によるまちづくりビジョンの策定
 - ・文化資源を活用したまちづくりの方向性を明らかにする。
 - ・市民が主体となって方向性を検討する。
 - ・高山における文化と社会、文化と経済のあるべき関係を踏まえる。
 - ・深い歴史を踏まえた高山らしいまちづくりを目指す。
- (2) 歴史文化基本構想の策定等
 - ・新たな文化資産を増やすとともに既存の文化資産に磨きをかける取り組みに市民が主体的に関わるようにするために、高岡市の「関連文化財群」や太宰府市の「市民遺産」の考え方の導入について検討する。
 - ・みんなが「歴史や風土を踏まえ土地の個性に合った地域づくりを推進すること、国際観光都市としての総合力が高まる」という視点を持つ。
- (3) おもてなしのまちづくり条例の制定
 - ・すべての市民が「おもてなしの心」を意識して生活することにより観光都市としての魅力を増大させ、まちの持続可能性を高める。
- (4) 観光に特化した計画の策定
 - ・文化資源を持続的かつ有効に活用するため、歴史文化基本構想とおもてなしのまちづくり条例を踏まえた計画とする。
 - ・高山地域と支所地域を一体として捉えた計画とする。
- (5) その他
 - ① 関係する計画等との調整
 - ② 文化によるまちづくりのビジョンに基づいて関係する政策、施策、事業等を体系化し、相互の関係性を把握する中から重点的に取り組むべきポイント等を浮き彫りにする。
 - ③ 歴史的風致維持向上計画、芸術文化振興指針、産業振興計画、生涯学習振興計画等との調整を図る。
 - ④ 取り組みに当たって留意すべき事項
 - ・市民（特に子どもや若者）を取り組みの中心に据えること。
 - ・全庁横断的に取り組むこと。
 - ・専門家、有識者を活用すること。
 - ・計画等には評価の仕組みを組み込むこと。



春の高山祭り